

## 令和8年度一般選抜（後期日程）

### 数学

#### 【出題の意図】

大問1：大学入学後に必要となる数学的素養、特に、主に線形代数や解析の基礎となる方程式や微分・積分について十分に理解しているかどうかを測る意図に基づいた出題である。具体的には、二次方程式の解と係数の関係や二次関数の性質、分数関数の積分などを通して、方程式や微分・積分に対する知識や計算力・思考力を確認している。

大問2：大学入学後に必要となる数学的素養、特に、主に解析の基礎となる微分・積分について十分に理解しているかどうかを測る意図に基づいた出題である。具体的には、極限とはさみうちの原理、指数関数や対数関数の性質と微分・積分、置換積分と部分積分による計算などを通して、微分・積分に対する知識や計算力・思考力を確認している。

大問3：大学入学後に必要となる数学的素養、特に、主に線形代数や力学の基礎となるベクトルと三角関数について十分に理解しているかどうかを測る意図に基づいた出題である。具体的には、ベクトルの内積、ベクトルの性質、三角関数の性質などを通して、ベクトルと三角関数に対する知識や計算力・思考力を確認している。

大問4：大学入学後に必要となる数学的素養、特に、主に離散数学や確率・統計の基礎となる数列、確率と期待値について十分に理解しているかどうかを測る意図に基づいた出題である。具体的には、問題文を適切に理解した上での確率の計算、確率に基づく数列の一般項の導出、期待値とその極限の計算などを通して、数列、確率と期待値に対する知識や計算力・思考力を確認している。